

「雪の八高線」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

先日の関東の雪は、内陸部ほどたくさん積もった。埼玉県小川町にも、久しぶりに雪が降った。小川町のマンション11階にもカメラが設置してある。このカメラは主として、月や惑星の動きなどの、天体観測用だが、降雪や交通の様子も観察することができる。



1月17日の17時。雪はまったくなく、普段の冬の小川町の風景である。夜景が美しい。



1月18日未明。かなりの降雪があり、風景が霞んでいる。しんと雪が降り、小川町全体が静まり返っている。「太郎を眠らせ 太郎の屋根に雪降り積む・・・」三好達治の詩を思い起こさせる風景だ。



八高線が心配だったが、5時15分の一番列車は、定刻通りに、土手の線路を通過した(左下写真)。首都圏の電車は、架線着雪や停電で電車のダイヤが乱れた。しかし、気動車の八高線は、意外にも雪に強いのだ。



実は、一番列車の走る前の深夜に、除雪車が走っていた。八高線に除雪車が走るのは、珍しいことだ。



雪の朝の小川町は、まるで冬の十日町のような感じだ。



「雪の八高線」 水彩画 / C. Tanaka